

第15回 「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ

— 15th Anniversary 北の大地から「ビー・アンビシャス太陽光！」 —

日本学術振興会産学協力研究委員会「次世代の太陽光発電システム第175委員会」は平成16年度に発足し、今年で15年目を迎えます。国内の太陽光発電産業は、新興国メーカーのシェア拡大や、固定価格買取制度の見直しなどで、厳しい状況にありますが、未来に向けて、持続的な研究開発や、イノベーションによる発電コストの低減に加え、ルーフトップやメガソーラーでの使用に留まらない高い付加価値を創出することが求められています。

本シンポジウムは15年の節目を迎え、札幌の地で初めての開催を企画致しました。今回は、15周年記念事業として、海外から研究者を御招待し、特別企画「日本で学んだ研究者からの提言」を開催するとともに、若手研究者が夢について語り合うパネルディスカッション「太陽光発電のイノベーションはこれだ！（仮）」も企画致しました。また、シンポジウム前日には苫東地域のメガソーラーやレドックスフロー実証実験の見学も予定しております。

主催団体の会員はもとより、会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お問い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

主催 (独)日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 (<http://www.gakushin175.org/>)

協賛 (公社)応用物理学会 応用電子物性分科会(予定)/多元系化合物・太陽電池研究会、
(一社)日本太陽エネルギー学会

会期 平成30年7月12日(木)から13日(金)の2日間

前日の7月11日(水)に苫東地域のメガソーラーやレドックスフロー実証実験の見学会開催(先着90名)

場所 ホテルさっぽろ芸文館 (<https://www.sapporo-geibun.jp/>)

住所: 〒060-0001 札幌市中央区北1条西12丁目 電話:011-231-9551

札幌市営地下鉄東西線西11丁目駅下車、1番出口から徒歩5分

【シンポジウムの内容】

- (1) シリコン系、化合物薄膜、超高効率・集光形、色素増感・有機薄膜、ペロブスカイト、第3世代等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術・モジュール技術、評価技術、リサイクル技術、測定法、信頼性など
- (3) 太陽光発電システム(系統連系技術、フィールド試験、大規模発電、PCS、宇宙応用)、新規用途開拓(BIPV、車載、ソーラーシェアリング)、O&M、蓄電システム、エネルギーマネージメントなど
- (4) NEDO、JST プログラム関連等
- (5) 国や地方自治体のエネルギー政策、導入普及と地域連携

* 広く一般講演(口頭発表とポスター発表)を募集しております。

* 招待講演、一般講演の他にも特別企画、パネルディスカッションも企画しております。

【基調講演・特別企画・パネルディスカッション・招待講演】

基調講演:

小長井 誠(日本学術振興会第175委員会委員長、東京都市大)

「日本の太陽電池技術の発展と2050年に向けてのイノベーション(仮)」

招待講演:

田中 和文(京セラ)「京セラにおける長期信頼性太陽電池モジュール開発の取り組み」

平井 義晃(ソーラーフロンティア)「ソーラーフロンティアにおける高性能 CIS 薄膜太陽電池の開発」

瀬川 浩司(東京大)「高性能有機金属ハライドペロブスカイト太陽電池」

望月 幸泰(苫東)「苫東地区における再生可能エネルギーの取り組み(仮)」

特別企画「日本で学んだ研究者からの提言」マルワン ダムリン(東洋アルミニウム)、劉 正新(Chinese Academy of Sciences)、李 海錫(Korea University)、Cham Thi Trinh(Helmholtz-Zentrum Berlin)

パネルディスカッション「太陽光発電のイノベーションはこれだ！（仮）」

(他の招待講演者にも現在交渉中、招待講演リストはHPにて随時更新いたします)

【講演申込手続き・ダイジェスト原稿の提出】

講演希望者は、下記 URL の投稿フォームにて、発表題目、発表者名(連名者)、発表者所属を記入し、当日配布用のダイジェスト原稿ファイル(A4、**1 ページ以内、pdf 形式**)とともにご送信ください。

(ダイジェスト原稿テンプレートをご利用ください: http://www.gakushin175.org/_userdata/template.docx)

講演申込およびダイジェスト原稿提出の締切は、**平成 30 年 5 月 23 日(水)**です。

※ダイジェスト原稿提出後の差替はいたしかねますので、予め内容をご確認の上、提出願います。

【イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞】

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベティブPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。

【シンポジウム・見学会の参加登録、シンポジウム・意見交換会参加費振込先】

講演申込と参加登録は、別になっております。**(講演申込された方も参加登録が必要です。)**シンポジウムに参加を希望される方は、必ず氏名、所属、住所、電話番号、電子メールアドレス、意見交換会参加の有無、見学会参加の有無をWebにてご登録ください。見学会の詳細は下記URLに掲載します。見学会へのご参加はシンポジウム参加登録者に限ります(先着 90 名)。

参加登録および参加費振込の締切は、**平成 30 年 6 月 22 日(金)**です。

※講演申込、参加登録は Web 登録となります。アドレスは、<http://www.gakushin175.org/registration.html> です。

シンポジウム参加費	第 175 委員会登録委員#	学生	一般
Early bird registration (平成 30 年 6 月 22 日まで)	10,000 円	3,000 円	15,000 円
General & On-site registration (平成 30 年 6 月 23 日以降)	13,000 円	5,000 円	18,000 円

#委員 1 名につき代理 1 名の参加が可能です。

※意見交換会参加費は別途 5,000 円

振込先: みずほ銀行 大岡山支店 普通預金 店番号 145 口座番号 2084534

にほんがくじゅつしんこうかいだい175いんかいだいひょうこながいまこと
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

【実行委員会】

委員 長: 増田 淳(産業技術総合研究所)

副委員 長: マルワン ダムリン(東洋アルミニウム)、新船 幸二(兵庫県立大学)

プログラム委員長: 伊藤 貴司(岐阜大学)

プログラム副委員長: 田中 誠(太陽光発電技術研究組合)、上川 由紀子(産業技術総合研究所)

プログラム委員: 次世代の太陽光発電システム第 175 委員会運営委員

国際・特別企画: 宇佐美 徳隆(名古屋大学)、大平 圭介(北陸先端科学技術大学院大学)、西岡 賢祐(宮崎大学)

会場 係: 石河 泰明(奈良先端科学技術大学院大学)、峯元 高志(立命館大学)

ホームページ: 黒川 康良(名古屋大学)

渉 外: 山口 真史(豊田工業大学)

【事務局】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-NE-15

東京工業大学 工学院 電気電子系 エネルギーコース 山田・宮島研究室

古川 公子(庶務担当幹事)

電話: 03-5734-2554、FAX: 03-5734-2897、E-mail: furukawa.k.aa@m.titech.ac.jp

【ホテル案内】

シンポジウム開催時期は札幌市内のホテルが大変混み合いますので、お早めにご予約ください。